

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-218734 (P2005-218734A)

【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2005-032

【出願番号】特願 2004-31633 (P2004-31633)

【国際特許分類】

A 4 5 D 2/08 (2006.01)

A 4 5 D 2/00 (2006.01)

A 4 5 D 7/06 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 2/08

A 4 5 D 2/00 Z

A 4 5 D 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 22 日 (2007.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

図 4 に示すように、内側扁平筒状体 1 0 A は、剤塗布シート 3 a 及び剤不透過シート 4 ' が互いに重なり合った状態で、その周囲部分がヒートシールで接合されることにより、この内部に充填された毛髪処理剤 6 が漏出しないようにこれを密閉した袋状に形成されている。

内側扁平筒状体 1 0 A の内部には、毛髪挿入具 1 3 が挿通されている。この毛髪挿入具 1 3 は、案内棒 1 3 a の先端に、毛髪束 9 を束ねるリングバンド 1 3 b が取り付けられて構成されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

ここで、内側扁平筒状体 1 0 A のヒートシールがされた領域について詳述すると、このヒートシール領域は、毛髪挿入具 1 3 の形状に応じて複数に分割されており、案内棒 1 3 a の大部分を毛髪処理剤 6 と共に密閉する第 1 シール領域 1 5 と、リングバンド 1 3 b のみを密閉する第 2 シール領域 1 6 と、案内棒 1 3 a の後端部分のみを密閉する第 3 シール領域 1 7 とからなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

第 3 シール領域 1 7 においては、毛髪挿入具 1 3 を取り出す際、案内棒 1 3 a の後端部

分を容易に露出させる観点から、少なくともこの領域に含まれる樹脂フィルム 3 a , 4 ' は、通常の操作で切離可能な材料からなっている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

本発明は、上記第 1、第 2 実施形態に限られることなく、種々の変更等を行うことができる。

毛髪処理剤の流動性をより効果的に抑える点では、上記第 1 実施形態のように、毛髪処理剤は剤保持層によって保持されることが好ましいが、粘度の数値規定による高粘性の毛髪処理剤を、単独で不透過性のシートに塗布してもよい。